

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源

# Agfresh

2019. VOLUME.107

あぐれっしゅ

2



信頼される  
繁殖農家に!

**特集 指導力を強化し「農家所得の増大」**  
「農業生産の拡大」を目指す  
北部営農センター(横浜町・むつ)  
4月から設置

「みんなのよい食プロジェクト」とは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農家とJAグループ、消費者のみなさんで一緒に考えて、行動していく運動です。



腕 じ ま ん

地域じまんのモノ語り

向井さん(東小6年)が中央会長賞  
佐々木さん(甲東中3)が全国入賞  
～「ごはん・お米とわたし」の作文・図画コンクール～

第37回青森県「ごはん・お米とわたし」の作文・図画コンクールで、図画部門で向井愛音さん(東小6年)の作品「大きく育ててね」が上位3番目にあたる青森県農協中央会長賞、本県で優秀賞に輝き全国コンクールに出品になった佐々木華穂さん(甲東中3年)の作品「楽しい給食おいしいごはん」は全国優秀賞に入賞しました。

同コンクールはJA青森中央会と県内JA主催で、県内の小中学校54校から図画176点、作文が63校から263点の応募があり、2部門の三賞と優秀賞(上位)の計18作品が全国出点されました。当JA管内からの応募作品のうち、図画部門で7点、作文部門で4点が本県コンクールで入賞しました。受賞者は次の通り。

【作文部門】1部(小1～小3) 優秀賞  
畑山 慶治  
十和田市立南小学校(2年)  
お米づくりのお手伝い  
秋山 剛都  
十和田市立南小学校(3年)  
赤ちゃんのごはん  
【作文部門】2部(小4～小6) 優秀賞  
高松 惺  
十和田市立南小学校(4年)  
おじいちゃんのお米  
西野 智哉  
七戸町立城南小学校(4年)  
お母さんのおにぎり

【図画部門】2部(小4～小6) 優秀賞  
米内山 花伶  
おいらせ町立木ノ下小学校(6年)  
ごはんへの感謝!!  
佐々木 準太郎  
十和田市立東小学校(6年)  
楽しかった田植え体験  
藤井 優多  
十和田市立東小学校(6年)  
稲刈り楽しいな  
山田 明依  
十和田市立東小学校(6年)  
稲がちゃんと  
育ちますように

【図画部門】3部(中1～中3) 優秀賞  
沢目 華依  
十和田市立甲東中学校(2年)  
甲東学区の水田  
竹島 麗羅  
十和田市立甲東中学校(3年)  
みんなで食べる  
ごはんおいしいな!  
【学校奨励賞】  
青森県農協中央会長賞  
十和田市立東小学校 (図画部門)



【図画部門】青森県農協中央会長賞  
向井 愛音 十和田市立東小学校(6年)  
「大きく育ててね!」



【図画部門】3部 優秀賞/全国優秀賞  
佐々木 華穂 十和田市立甲東中学校(3年)  
「楽しい給食おいしいごはん」

次回外務予定日 3/12(火)～16(土)

# 継承 × 人

横浜町支店管内  
にき まこと

二木 誠さん(38)

長男…瑠斗くん(7)

次女…瑛愛ちゃん(2)

1月の子牛初セリに家族総出で訪れ、出番を待つ。上場した子牛4頭の平均取引価格は84万円(税抜)を超え、去勢牛1頭が120万円を超えた。今回の結果について「母牛(平茂勝×安福久)の血統が好結果につながった。今まで8産子が枝肉市場でも好成績を残している」と、幸先の良いスタートを喜ぶ。

## 高校での学びが就農のきっかけ

父親は、酪農から農業を始めた。誠さん自身は2代目、就農して11年になる。十和田市の県立三本木農業高校畜産科で学ぶようになってから「就農」を意識し始めた。

十数年前には酪農から和牛繁殖の経営に切り替えた。父親の病気や自身の高校時代に負ったケガの後遺症から、少しでも作業的に楽になればの思いからだったと言う。この10年の間には東日本大震災やBSEの影響を受け、子牛価格が暴落する苦い思いも経験した。

## 好成績が自信に

両親と3人で飼養管理する。牛舎内は母牛、子牛の成長期ごとに分け、飼養しやすく、また牛にストレスを与えない環境を整える。エサを与えながら「食欲はあるか」「下痢や咳はしてないか」…と、一頭一頭の体調管理に気を配る。市場上場に近い子牛は、1週間から10日間ほどかけ「子牛の引つけ」を行う。トラックに搭載しやすく、また購買者が扱いやすいように「しつけ」をしている。



取材日…1/11

## 信頼される 繁殖農家を目指す

現在は、親牛から子牛に伝える遺伝的能力(育種価)の勉強を重ね、探究に余念がない。優良な血統を選択し、人工授精する際は父親と相談して行うが、ここ数年の成果で自身でも手ごたえを感じ始めてきた。

今後の目標について「繁殖農家は、肥育農家と信頼関係を築くことが大事。購入した肥育農家が損をしない喜ばれる良質な牛を育て続けたい」と力を込める。

### プロフィール

にき まこと 横浜町大豆田(まめだ)  
組合員=菊太郎さん  
家族構成/両親、妻、子  
農業経営/親牛60頭、子牛30~40頭

## 総務部 JAの自己改革に関する 組合員アンケート実施中です!

組合員・准組合員のみなさまの期待に応え、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAとなれるよう、アンケート調査を実施しています。JA職員が訪問の際には、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

## 総務部 ◆みなさんの声を聞かせてください ～地区別懇談会開催～

2018年度事業動向の経過報告および組合員の意見・要望を今後の事業に反映させていくため、下記の通り地区別懇談会を開催します。来場者には粗品を進呈致します。

開催日：2019年3月5日(火)～7日(木)  
報告事項：1) 2018年度の事業動向  
2) 2019年度の取り組み方針

開催年月日	開催時間	開催地区	開催場所
3月5日(火)	午前10時30分	大深内支店 三本木事業所	大深内支店 本店3階大ホール
	午後1時30分	藤坂支店 十和田湖支店	藤坂支店 十和田湖支店
3月6日(水)	午前10時30分	七戸支店 下田支店	七戸支店 下田支店
	午後1時30分	上北支店 ももいし支店	上北支店 一川目コミュニティホール
3月7日(木)	午前10時30分	横浜町支店	横浜町ふれあいセンター
	午後1時30分	むつ支店	むつ支店

## 金融部 ローン相談会(本支店のご案内)

毎月第3日曜日 9:00~15:00

相談会場	2月	3月
本店・下田支店 上北支店・七戸支店 むつ支店	17日	17日

新築・リフォーム、自動車の購入など、農業資金以外でも、各種ローンを取り扱いしております。会社員の方、自営業の方、JAとのお取引がない方もお気軽にご相談ください。相談にご来場いただいたお客様に粗品をプレゼントいたします。

農業機械・農業に関わる設備資金等の相談も承ります。



24時間365日受付中

各種ローンがネットで仮申込みできます。  
検索方法は「JAネットローン」で検索!!

### 年金来店感謝デー

期間:2月15日(金)~19日(火)

2月は「ひねり揚げ(お菓子)」 本支店各先着50名様にプレゼント

## もくじ contents

あぐれっしゅ  
vol.107 2

特集 4~5p  
指導力を強化し「農家所得の増大」  
「農業生産の拡大」を目指す  
～北部営農センター(横浜・むつ)  
4月から設置～

総務部  
・地区別懇談会開催  
金融部  
・ローン相談会・年金感謝デー …… 2p

継承人 表紙写真紹介 …… 3p  
二木 誠さん(38)…横浜町支店管内

NEWS&TOPIC 地域の話 …… 6p  
・ナガイモ共進会  
・子牛初セリ  
・年金セミナー開催 …… ほか

あぐれっしゅ情報① …… 11p  
・臨時総会議案承認  
・やさい販売要請報告  
・ナガイモ早掘りNo1決定戦開催

ふれあい広場  
頭の体操 パズル? …… 12p

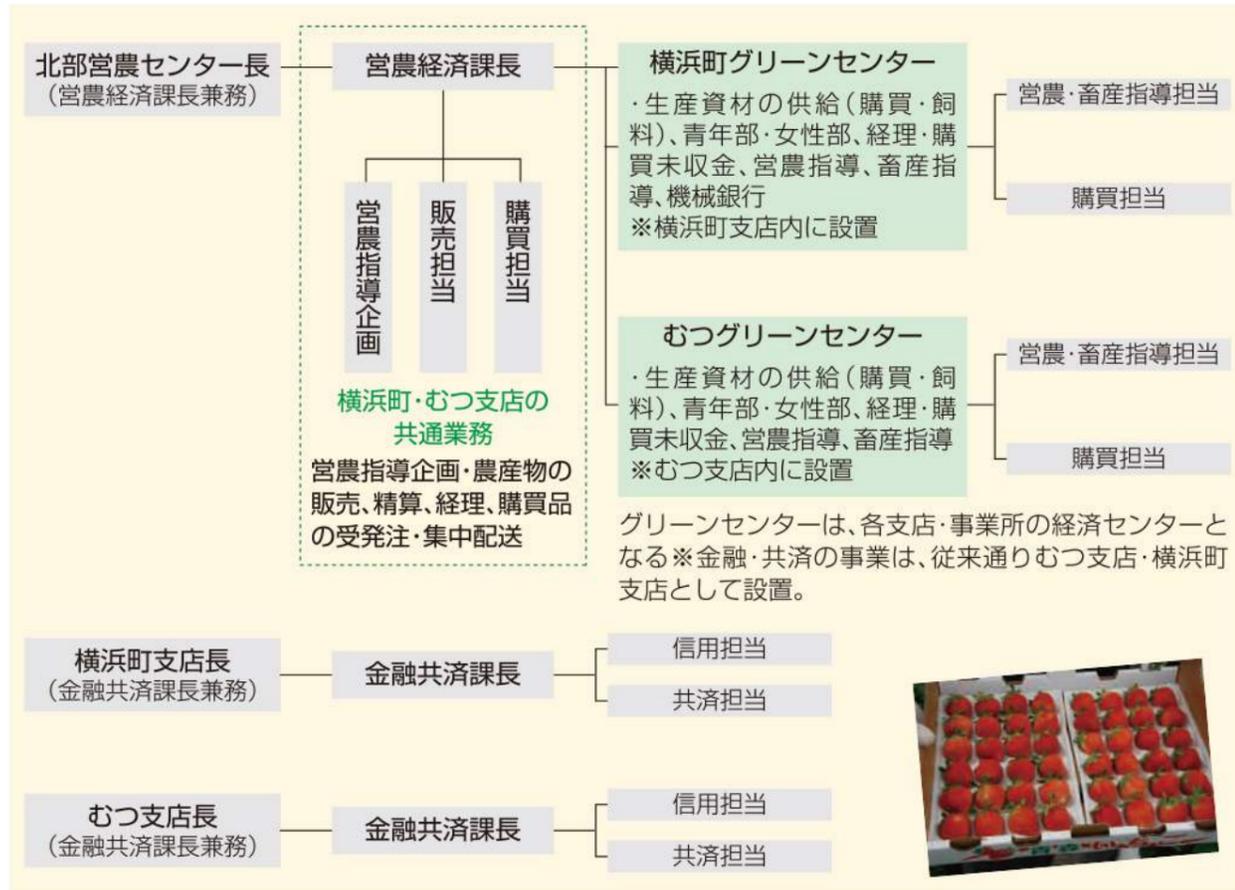
information …… 14p  
・組合員資格の確認について  
・子会社通信 子牛市場 理事会だより  
役員室のつぶやき …… ほか

腕じまん  
地域じまんのモノ語り …… 16p  
・向井さん(東小6年)が中央会長賞、  
佐々木さん(甲東中3年)が全国入賞  
～「ごはん・お米とわたし」の  
作文・図画コンクール～

JAの概況 平成31年1月末日現在  
正組合員数/6,642人  
准組合員数/5,221人  
役員数/26人  
職員数(准職・嘱託含)/286人  
貯金高/806億5,169万円  
貸出高/145億6,829万円

# 【営農センター構想における体制図】

2019年4月1日



# 特集 指導力を強化し「農家所得の増大」



## 「農業生産の拡大」をめざす。



**北部営農センター  
(横浜・むつ)  
4月から設置**

J A十和田おいらせは「第三次地域農業振興計画(2017～19年度)」のなかで、独自の「営農センター構想の実現」を重要実施事項として掲げています。この営農センター構想は①「充実した営農指導体制の確立」②「地域営農類型に応じた農産物集出荷施設の実現」③「農家手取りを増やす多様な販売戦略の構築」を確立するためのものです。今回の特集では、昨年12月の理事会で承認された4月設置の「北部営農センター」について紹介します。

### 求められる業務改善に対応

当J A管内の現状をみるとJ A合併以来、支店ごとに農畜産物にかかわる指導、生産、資材の供給、販売事業、それに付随する集出荷施設、共選施設を運営してきました。特に施設関係は同時期に建設した関連施設が多く、老朽化による稼働能力の低下や修繕費用の増大が課題となっています。

また2019年から始まる会計監査人による監査が実施されることで固定資産減損会計は、これまで以上の厳格な監査が予想されます。このことは継続して3年間収益が確保されない施設等は経営の見直しを余儀なくされます。特に北部管内における減損会計問題として支店の赤字による施設等の評価損が危惧され、北部

管内を黒字にするには、支店から経済事業を切り離すことが求められています。

### 経済事業を集約・強化

そうしたなかで、北部営農センターは横浜町・むつの2支店の経済事業を集約することで、指導力の強化などを図り、「農業所得の増大」「農業生産の拡大」の実現のために実施します。

当J Aの営農センター構想に先行して実施。具体的には横浜町支店内に横浜町・むつにおける経済事業部門として北部営農センター長を置きます。そして営農センター長兼務の営農経済課長が横浜町・むつ両地区の営農指導企画、販売、購買の事業を強力にすすめていきます。

北部営農センターの配下には、横浜町グリーンセンター(横浜町支店内)、むつグリーンセンター(むつ支店内)を設置し、農家組合員に対する営農指導・畜産指導、購買品の供給などを行ないます。

### 先行実施で検証

今回の北部営農センター設置を踏まえて今後、2020年4月の中央営農センター・東部営農センターの設置を目指すとしています。



## 冬期営農教室

### 所得増大 暑さのピーク早い傾向

～天気情報を分かりやすく解説～

当JAは1月29日、本店で「農業に役立つ天気の話」をテーマに営農教室を開きました。参加農家80人が近年の天気の特徴、天気予報の活用法などを学びました。

アップルウエザーの小林貴子気象予報士が講師を務め、近年の傾向として「ゲリラ豪雨の頻度が増加にある一方、降水日数が減り極端な天気が増えている。温暖化が影響し、8月に比べ7月に暑さのピークが訪れている」と話していました。

2018年は、西日本を襲った平成最大の豪雨災害や、災害級の猛暑も続きました。今後の対策として、小林気象予報士は「気象庁の天気予報も性能が向上している。雨雲の動きが分かる動画なども活用して欲しい」とアドバイスしました。



▲近年の天気の特徴等を学ぶ参加農家

### 生産拡大 所得増大 試験展示圃場の 検証結果を報告

～情報共有で指導の レベルアップへ～

営農指導員のスキルアップを目的に、当JAは1月24日、本店で「指導員プロジェクト試験報告会」を開きました。指導員15人が水稲、野菜の施肥管理など、試験圃場での検証結果を報告。水稲の高密度播種栽培に適した肥料について発表した高淵範顕営農経済課長補佐(三本木事業所)が最優秀賞に輝きました。

高淵課長補佐は、JAの試験肥料とメーカーの肥料で比較し、施肥量や収量、品質などを調査。作業の効率性も分析するなど、結果の精査・検証ができていたことが高く評価されました。

冬期営農教室の水稲栽培で検証を報告するほか、指導員で共有し巡回指導で検証結果を伝えていきます。



▲検証結果を発表する指導員

## 冬期営農教室

### 生産拡大 所得増大 熊野さん2年連続で 優秀賞受賞

～「にんにくフォーラム」～

青森県とJA全農あおもり主催の「にんにくフォーラム」が1月17日、当JA本店で行われました。品質を競う共進会では、ももし支店管内の生産農家、熊野雅人さんが2年連続で上位2番目の優秀賞に輝きました。

フォーラムには県内の生産農家、種苗メーカーら200人が出席。大学教授らを講師に「イモグサレセンチュウの生態と防除に対する考え方」「生産段階での優良種苗増殖技術の要点」などを学びました。



▲優秀賞に輝いた熊野さん

## NEWS 地域の話 & TOPIC

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化(地域貢献)」に向け、JA十和田おいらせは「創造的JA自己改革」の取り組みを実践中です。

## 冬期営農教室

### 生産拡大 所得増大 寺澤さんが農林水産大臣賞 ～ナガイモ共進会で最高位～

ナガイモの出荷量日本一奪還に向け、青森県とJA全農あおもりは1月25日、JAおいらせ本店(三沢市)で、産地力強化戦略推進大会を開きました。高品質、多収生産の推進を目的としたナガイモ共進会では、ナガイモ専門部会長で七戸町蒼前の寺澤和夫さんが4Lの部で最高位の農林水産大臣賞に輝き、長男の祐介さんも2Lの部で優良賞と親子での受賞となりました。

推進大会には行政、県内の青果市場、生産農家ら150人が出席。今年度は、新たに生産農家4人が「ながいもの達人」として県の認定を受け、優れた技術を担い手に継承していくことにしています。



▲農林水産大臣賞の寺澤さん(写真右)、入賞者の成田さん(写真中央)と祐介さん(写真左)

管内の共進会入賞者  
(出点数:4Lの部27点、2Lの部6点)  
4Lの部/優良賞…成田勝敏さん(七戸町)

## 冬期営農教室

### 生産拡大 所得増大 播種期の見極め重要 ～高品質生産に向けポイント学ぶ～

当JAは1月24日、おいらせ町の一川目コミュニティセンターで31年産野菜の栽培に向けた講習会を開きました。参加農家80人が、ニンジン、キャベツ、ダイコンの品種の特性や高品質生産のポイントを学びました。

講習会では、高品質栽培に向け、保水・排水対策に優れた圃場づくりや生育に適した温度管理などを確認。吉田種苗(株)の吉田譲代表取締役は「今後は播種期の適切な見極めが重要。圃場の様子や気温の状況をよく見ること」とアドバイスしました。



▲主力野菜の栽培ポイントを学ぶ参加農家

## 冬期営農教室

### 生産拡大 所得増大 短い収穫期間で高収入目指す ～ソラ豆栽培講習会～

ソラ豆栽培講習会が1月23日、本店で行われ、参加農家40人が短い収穫期間で高収入を得ようと、品種特性、畑作りなどを学びました。

ソラ豆は約3週間で収穫が終わるため、複合経営の多い管内では取り組みやすく、収穫が6月下旬で農業収入の少ない時期のため、栽培農家は増加傾向にあります。

現在の栽培者数は42人、作付面積7.5㌧。講習会では種苗メーカーの担当者が畑作りのポイントとして「湿害を受けやすい圃場では高畝・排水対策が重要になる」と説明していました。



▲ソラ豆の品種特性を学ぶ参加農家